

〔株式会社 笠間農園〕（石川県内灘町）

視察受入れ：可

報道機関受入れ：可

WEBサイト：<https://www.kasamanouen.jp/>

- 石川県河北郡内灘町にある株式会社笠間農園は、平成29年から「畑でリハビリを！」という思いから、施設外就労として小松菜の収穫作業の請負契約を締結。通年の小松菜収穫と、一時的な繁忙期に、田んぼの育苗箱並べ、枝豆の選別・袋詰め、ためねぎ苗の出荷作業を請け負ってもらう。
- 平成30年から石川県の「農福連携促進アドバイザー」（石川県障害保健福祉課）を務め、県内でのマッチングの促進に貢献している。
- 小中学生の職業体験を受け入れたり、総合学習や保育園で食育活動を行ったり、地域農業の魅力を伝え、食への関心を高める活動を行うなど、幅広い活動を行っている。

**取組の内容**

- ◆ 小松菜、ほうれんそう、えだまめ、にんじん、ブロッコリーなどハウス60棟（1.7ha）と露地で栽培。
- ◆ 従業員18名中9名が70～80代で、平均年齢が61歳。高齢者は、より元気に生涯現役を目指し勤務。
- ◆ 通年での『河北潟こまつな』の収穫と、一時的な繁忙期に、それぞれの施設の特徴を活かし、施設外就労を受け入れる。
- ◆ 作業療法士として病院に勤務していた経験を活かし、平成30年よりマッチングの場に立ち会い、農家と福祉をつなぐ農福連携促進アドバイザーを務める。

**取組の効果**

- ◆ 高齢者にとって働くことは、収入を得られることに加え、健康の維持向上や生きがいにもなっている。
- ◆ 施設外就労として小松菜の収穫作業を通年で2施設、夏2ヶ月間の枝豆の出荷作業では5施設が携わる。
- ◆ 枝豆は年々出荷量が増加するとともに、請負仕事量が増し、工賃単価を上げることに成功。  
さらに、収穫した農作物を商品化し、6次化にも取り組む障害者就労支援事業所が出現。
- ◆ アドバイザーを務める県事業では、令和元年度50件のマッチングに繋がる。

通年での小松菜収穫



育苗箱の運搬等



枝豆の選別・袋詰

小松菜を商品化  
『こまつなマフィン』茎は食べやすい大きさに  
切りパック詰め